

梅雨時期の大雨と集中豪雨に注意!

梅雨の時期は、大雨や集中豪雨による洪水や土砂災害が起こりやすくなります。長雨や大雨の時は、テレビやラジオなどの気象情報に注意し、危険だと思ったら早めに避難しましょう。災害が発生するおそれのある時や避難が必要な場合は、防災行政無線やメール、村公式LINEでお知らせします。

「警戒レベル」で自分がとるべき行動をチェック!

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保※1	命の危険 直ちに安全確保! すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。
4	避難指示	危険な場所から全員避難 災害のおそれが高い状況です。危険な場所から全員避難(立ち退き避難又は屋内安全確保)しましょう。
3	高齢者等避難※2	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者や障害のある人とその支援者は避難しましょう。その他の人も避難の準備をしましょう。
2	大雨・洪水・高潮注意報	避難行動の確認 避難に備え防災ハザードマップで自らの避難行動を確認しましょう。
1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。



「避難」って何すればいいの?

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。



普段からどう行動するか決めておきましょう

行政が指定した避難場所への立ち退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ など

安全な親戚・知人宅への立ち退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
※防災マップで安全かどうか確認しましょう。

安全なホテル・旅館への立ち退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。
※防災マップで安全かどうか確認しましょう。

屋内安全確保

防災マップを確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。
※土砂災害の危険がある区域では立ち退き避難が原則です。

【出典】内閣府(防災担当)・消防庁